

施策評価シート（令和元年度 実績）

まちづくりの方向性	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	3-1 新庁舎整備による安全・安心な町の拠点づくり
概要	<p>生涯学習センター・ラディアン周辺に行政機能を集約し、ワンストップで行政サービスを提供できるようにすることで、安全・安心で便利なまちづくりを進めます。</p> <p>そのため、老朽化が進んでいる役場庁舎をラディアン周辺に移転するとともに、ラディアンに行政機能の一部を入れるなど、役場庁舎とラディアンが連携してサービスが提供できるよう、ラディアンの活用方法についても検討し、町民にとって安全・安心で利便性の高いまちづくりの拠点を形成します。</p> <p>また、町内に点在するその他の公共施設については、生活に必要なサービスの質を維持しつつ、公共施設再配置実施計画に基づいて、適切な配置に向けた再編を進めるとともに、未利用町有地については、生活の豊かさの向上のため、有効な活用に向けた検討を進めます。</p> <p>その中でも、地域集会施設については、老朽化が激しい施設や耐震化が未対応の施設について、統廃合に向けた協議を地域とともに進めていきます。</p>

No.	関連する予算等事業名	トータルコスト（千円）			庁内評価（2次評価）		
		R1	R2	R3	R1	R2	R3
1	公共施設再配置	1,706			適当・維持		
2	公共施設予約システム運用事業	2,916			適当・維持		
3	庁舎維持管理経費	31,342			適当・維持		
4	財産管理経費	19,034			適当・維持		
5	庁用車管理経費	7,406			適当・維持		
6	一般経費（各種管理責任者講習）	243			適当・維持		
7	町民センター維持管理経費	14,961			適当・維持		
8	老人憩いの家維持管理経費	3,375			適当・維持		
9	児童館維持管理経費	4,568			適当・維持		
10	防災コミュニティーセンター管理事業	10,976			適当・維持		
11	保健センター管理運営経費	6,631			良好・維持		
12	百合が丘保育園維持管理経費	6,872			良好・維持		
13	子育てサロン及び一時預かり運営事業	25,349			良好・維持		
14	高齢者福祉施設等関係経費	2,704			適当・維持		
15	サービスプラザ管理運営事業	4,743			適当・統廃合		
16	ウッドチップセンター運営事業	62,830			適当・維持		
17	環境衛生センター維持管理経費	19,278			適当・維持		
18	ごみ積替施設運営事業	55,145			良好・維持		
19	観光施設維持管理事業	1,416			適当・維持		
20	公園等維持管理運営経費	85,469			適当・維持		
21	消防庁舎維持管理経費	7,774			適当・維持		
22	分団施設維持管理経費	1,204			適当・維持		
23	二宮小学校施設管理運営経費	5,460			良好・維持		
24	一色小学校施設管理運営経費	3,542			良好・維持		
25	山西小学校施設管理運営経費	4,827			良好・維持		
26	二宮小学校教育施設整備事業	5,323			良好・維持		
27	一色小学校教育施設整備事業	5,017			良好・維持		
28	山西小学校教育施設整備事業	3,503			良好・維持		
29	二宮中学校施設管理運営経費	5,579			良好・維持		
30	二宮西中学校施設管理運営経費	5,041			良好・維持		
31	二宮中学校教育施設整備事業	4,815			良好・維持		
32	二宮西中学校教育施設整備事業	3,113			良好・維持		
33	学校給食施設管理運営経費	84,945			良好・維持		

34	図書館運営事業	35,879			良好・維持	
35	生涯学習センター管理運営事業	64,511			適当・維持	
36	ふたみ記念館管理運営経費	4,387			適当・維持	
37	テニスコート施設管理運営事業	727			適当・維持	
38	武道館施設管理運営事業	1,338			適当・維持	
39	町立体育館施設管理運営事業	11,300			適当・維持	
40	町民運動場施設管理運営事業	14,602			適当・維持	
41	山西プール施設管理運営事業	10,353			適当・維持	
42	町民温水プール施設管理運営事業	66,021			適当・要改善	
43	新庁舎整備事業	16,465			適当・維持	
合計		732,690	0	0		

成果 (○) 課題等 (●)	○公共施設予約システムの運用開始により、公平な施設利用に繋がった。 ○地域集会施設について、地区との話し合いが進み、未耐震のものについては耐震診断を行うことになった。 ●耐震性が無く老朽化した庁舎に迅速かつリーズナブルに対応するための計画について、議会の同意が得られていない。
-------------------	--

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
妥当性	■	□	□	□	□
有効性	■	□	□	□	□
効率性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□

※1次評価 「A：十分な成果があった」「B：一定の成果があった」「C：あまり成果がなかった」「D：成果が得られなかった」

総合評価（評価・理由等）	
B：一定の成果があった	公共施設予約システムは、4月にシステムによる利用者登録を、7月に施設の予約を開始し、利用者の利便性向上と公平な施設利用を実現した。新庁舎については、町内20地区への説明会を行い、町として基本構想を確定した。また、庁舎整備基金を設置し、計画的に積み立てを始めた。地域集会施設の整理・統合に向けた地区との話し合いの結果、未耐震の施設について耐震診断を行うこととした。

※ 町の最終方針 「継続推進」「一部改善」「抜本的見直し」

町の最終方針（今後の方向性）	
継続推進	・ 公共施設再配置・町有地有効活用実施計画に基づき、計画的な管理・運営に努める。また、公共施設の再編には、町民の理解・協働が不可欠であることから、丁寧で分かりやすい情報発信するなど、町民理解が醸成する取り組みを行っていく。